

平成29年（2017）3月 入域観光客数概況

3月の観光客数は、77万8,500人
対前年（H28）同月比 +6万9,300人、+9.8%
～3月の過去最高更新、年度は876万9,200人で4年連続過去最高～

入域状況

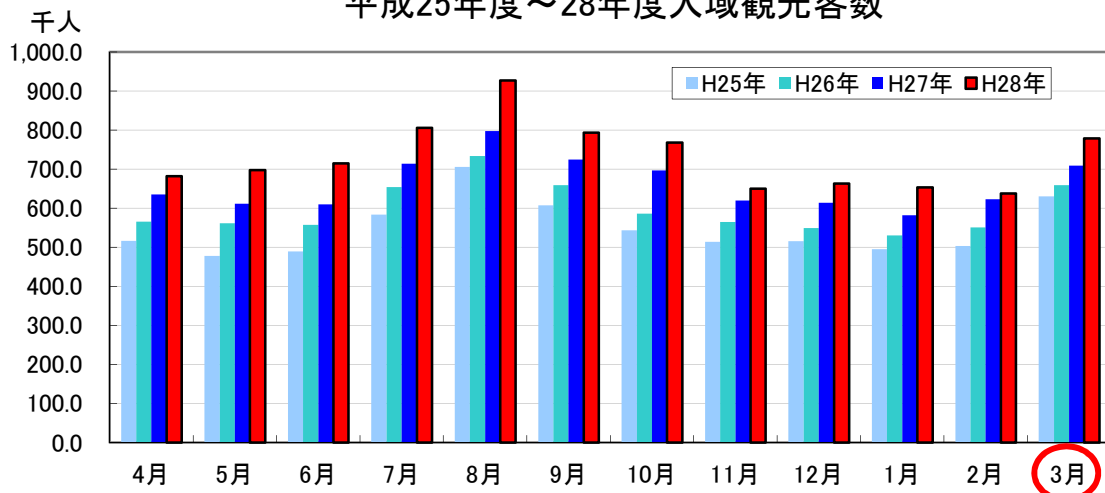
入域観光客数（平成27年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
国内客	620,100 人	571,300 人	+ 48,800人	+ 8.5%	79.7%
外国客	158,400 人	137,900 人	+ 20,500人	+ 14.9%	20.3%
合計	778,500 人	709,200 人	+ 69,300人	+ 9.8%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成27年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
国内客	620,100 人	571,300 人	+ 48,800人	+ 8.5%	81.0%
外国客	145,100 人	121,700 人	+ 23,400人	+ 19.2%	19.0%
合計	765,200 人	693,000 人	+ 72,200人	+ 10.4%	100.0%

平成25年度～28年度入域観光客数



国内客 入域状況

3月は、春休みの旅行需要があり、個人旅行を中心に各種商品の販売状況が良好だったことや、各航空会社において離島路線を中心に入込が好調を維持したこと等から、前年を上回った。

4月は、各旅行会社における予約状況が良好なことや、夏期運航期間において路線の拡充による提供座席数の増加が見込まれることから、好調に推移する見込み。

外国客 入域状況

3月は、高雄－那覇路線の新規就航など航空路線の拡充があった台湾・韓国を中心に空路客が増加したものの、前年に比べて大型クルーズ船の寄港回数が減ったこと等から、中国及び香港は前年を下回った。

4月以降は、韓国・大邱及び中国・西安－那覇路線の新規就航を含む航空路線の拡充があることや、クルーズ船の寄港増が予定されていること等から、好調に推移する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	301,500 人	271,500 人	+ 30,000人	+ 11.0%	48.6%
関西方面	126,900 人	119,400 人	+ 7,500人	+ 6.3%	20.5%
福岡方面	79,600 人	76,300 人	+ 3,300人	+ 4.3%	12.8%
名古屋	52,700 人	47,000 人	+ 5,700人	+ 12.1%	8.5%
その他	59,400 人	57,100 人	+ 2,300人	+ 4.0%	9.6%
合計	620,100 人	571,300 人	+ 48,800人	+ 8.5%	100.0%

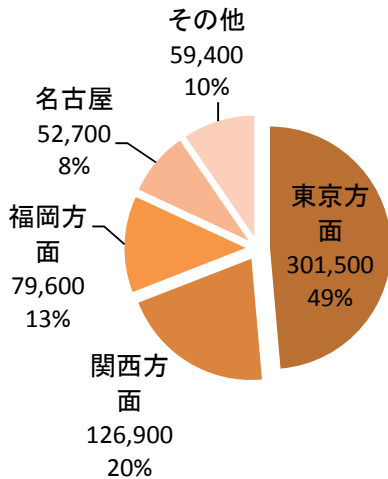
※国内海路客2,800人を含む(鹿児島2,600人、関西100人、その他100人)

外国客 国籍別入域状況

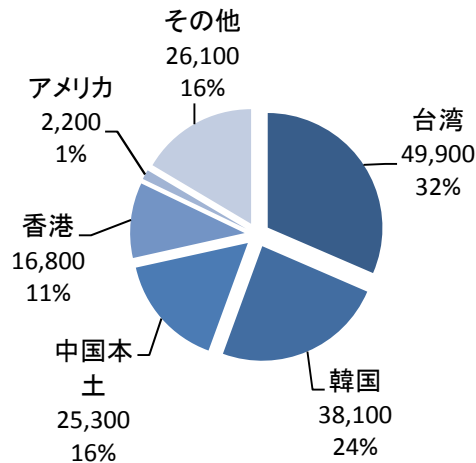
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H28年度	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	49,900 人	49,900 人	33,600 人	+ 16,300人	+48.5%	31.5%
韓国	38,100 人	38,100 人	29,500 人	+ 8,600人	+29.2%	24.1%
中国本土	25,300 人	25,300 人	25,700 人	△ 400人	△1.6%	16.0%
香港	16,800 人	16,800 人	20,300 人	△ 3,500人	△17.2%	10.6%
アメリカ	2,200 人	2,200 人	2,300 人	△ 100人	△4.3%	1.4%
その他	26,100 人	12,800 人	26,500 人	△ 400人	△1.5%	16.5%
合計	158,400 人	145,100 人	137,900 人	+ 20,500人	+14.9%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	40,200 人	40,200 人	+66.8%	33.0%	9,700 人	9,700 人	+2.1%	26.6%
韓国	38,100 人	38,100 人	+30.0%	31.2%	0 人	0 人	—	0.0%
中国本土	17,300 人	17,300 人	△1.1%	14.2%	8,000 人	8,000 人	△2.4%	22.0%
香港	16,600 人	16,600 人	+0.6%	13.6%	200 人	200 人	△94.7%	0.5%
アメリカ	1,700 人	1,700 人	+30.8%	1.4%	500 人	500 人	△50.0%	1.4%
その他	8,100 人	8,100 人	+84.1%	6.6%	18,000 人	4,700 人	△18.6%	49.5%
合計	122,000 人	122,000 人	+31.0%	100.0%	36,400 人	23,100 人	△18.8%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

3月は、各旅行会社の春休み旅行商品の販売状況が堅調であったことに加えて、航空会社の提供座席数の増加等により、前年を上回った。

4月は、各旅行会社における予約状況が良好なことや、航空会社の予約状況も順調に推移していることから、好調に推移する見込み。

大阪

3月は、各旅行会社の春休み旅行商品の販売状況が良好であったことに加えて、離島直行便の輸送実績が増加したこと等から、前年を上回った。

4月は、各旅行会社における予約状況が良好なことや、各航空会社の増便計画等から、堅調に推移する見込み。

福岡

3月は、前年同月に比べて提供座席数が減となったものの、各航空会社における個人旅行商品の販売状況が好調であったことや、旅行会社の販売も好調であったこと等から、前年を上回った。

4月は、各航空会社における予約状況が良好なことや、各旅行会社による販売取組の強化の動きがあること等から、堅調に推移する見込み。

名古屋

3月は、航空会社の旅割系の先行申し込みの販売状況が良好だったことや、名古屋－宮古間の直行チャーター便の運航等もあり、前年を上回った。

4月は、各旅行会社における予約状況や航空会社の予約状況が底堅く推移していること等から、堅調に推移する見込み。

台湾

3月は、タイガーエア台湾の高雄－那覇路線の新規就航や、定期クルーズ船の寄港が増加したこと等から、前年を上回った。

4月は、琉球海炎祭のチケットが2,000枚販売(今年の4倍)されたことや、クルーズ船の寄港増が予定されており、空路・海路客ともに順調に増加する見込み。

韓国

3月は、韓国では新学期開始でオフシーズンであったものの、旅行会社による旅行商品販売の取組強化や、前年同月に比べて各航空会社による航空路線の拡充があったこと等から、前年を上回った。

4月は、国内情勢の影響が懸念されるものの、4月に、ティーウェイ航空の大邱－那覇路線が新規就航されていること等から、好調に推移する見込み。

中国本土・北京

3月は、前年同月と比べ航空路線数に増減がないことや、日本本土のお花見の旅行商品との競合等から、前年を下回った。

4月以降は、中国東方航空の西安－那覇路線が新規就航されていること等から、堅調に推移する見込み。

中国本土・上海

3月は、前年同月と比べ航空路線数が拡充したものの、大型のクルーズ船の寄港回数が減ったこと等から、前年を下回った。

4月以降は、航空会社の予約状況が良好なことや、クルーズ船の寄港増が予定されていること等から、堅調に推移する見込み。

香港

3月は、前年同月と比べ航空路線数が拡充したものの、クルーズ寄港回数が減ったこと等から、前年を下回った。

4月以降は、航空会社の増便に加え、ゲンティンドリーム号による那覇と宮古島への定期寄港がはじまること等から堅調に推移する見込み。